**論文タイトル（MSゴシック14PT）センター揃え**

英文論文タイトルTimes New Roman 12 PT (Center)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ご所属先 | 苗字 名前 | First LASTNAME | Member |
| ご所属先 | MS明朝　12PT | Times NEWROMAN | Non-Member |
| ご所属先 | 苗字　名前 | Fontsize 12PT | Student Member |
| ご所属先 | 苗字　名前 | First LASTNAME |  |
| ご所属先 | 苗字　名前 | First LASTNAME |  |

Abstract (Times New Roman 11pt) should be about 150 words.

**Keywords**: 5-10key words, Times New Roman 10PT

**１．見出しMSゴシック太字12PT**

文章はMS明朝10PT。

原稿の本文については、2段組みとし、左右の段の間に*8*mm程度の間隔を空けること。

できる限り常用漢字を使用し、外字は出来る限り避けること。

量フォントのサイズは10 pointとし、英数字用フォントには日本語フォント（MS明朝、MSゴシック等）を用いないこと。また、数式に現れる量記号が文章中に現れる場合には、数式に用いたものと同じフォントを用い\*1、字体についてもそろえること\*2。

\*1：数式エディタ(Microsoft数式エディタやMath Type)を用いている場合、本文の英数字用フォントに｢Times New Roman｣を設定しておくと、気にしなくて済む。

\*2：特に、英文中に数式の量記号が英文と同じ字体で現れると、量記号としての判別が難しくなる場合がある。

数式には｢Computer Modern フォントファミリー(TimesやTimes New Romanもその例)｣を用いることを推奨する\*。

\*: Microsoft 数式エディタや Math Type では、デフォルトで Times New Roman に設定されている。

連絡先:名前、〒000-0000住所、所属先、

E-mail: …………@.....co.jp

２．見出しの数字は一桁全角、二桁半角

2.1 中見出しはMSゴシック太字11PT

なお、余白は下記のように設定してください。

上余白：29mm　下余白：22 mm

左余白：20 mm　右余白：20 mm

章・節・項の見出しには、ゴシック体の太文字を用い、章の見出しには12 point、節以下の見出しには11 pointの文字サイズを用いること。また、章・節・項の番号については、1桁数字には全角文字を、2桁以上の数字には半角文字を使用し、下記の要領で付番すること。

2.2 図表、写真等の書き方

論文等については、図表中の文書、 説明文(figure caption)を英文とし、下記の要領に従うこと。

**Fig.1 Arial 9pt Bold (図下)**

**Table1 Arial 9pt Bold (表上)**

なお、論文等以外の原稿（例えば解説記事等）についてはこの限りではないが、説明文番は、下記の要領に従うこと。ただし、学術論文と同様、英文でも良い。

**図１ MSゴシック9PT太字 図下**

**表１ MSゴシック9PT太字 図上**

Table 1 A list of the measurement conditions

|  |  |
| --- | --- |
| Table |  |
|  |  |
|  |  |

Ex. of a figure. Captions should be in English.

学会誌の印刷は白黒となります。

Fig.1 Appearance of measurement sample

(NCF600 weld metal)

**参考文献**

[1] W. Cheng and H. Huang: “超音波と渦電流探傷によるインコネル溶接金属の欠陥検出”, 第12回MAGDAコンフェランス予稿集, 大分, 2003年3月27-28日, pp.187-190 (2003)

[2] 糟谷高志, 内一哲哉: “ECTに基づくシュラウドの検査シミュレーション”, 保全学, Vol.3, No.1, pp.51-56 (2004)．

[3] D.N. Collins, W. Alcheikh: “Ultrasonic non-destructive evaluation of the matrix structure and the graphite shape in cast iron”, Journal of Materials Processing Technology, Vol.55, No.1, pp.85-90 (1995)

[4] 坪井始, 内藤督: “数値電磁解析法の基礎”, 養賢堂, 東京, pp.52-56 (1994)

　（2020年#月##日受理，2020年#月##日採択）